

記者発表（資料配付）				
月／日 （曜日）	担当部署名	T E L	発表者名 （担当班長名）	同時発表 （配布）先
10/14（水） 10:00	企業庁総務課	078-362-4327	事業戦略官 足立 晶一 （経営戦略班長 長谷 佳行）	—

淡路夢舞台の創造的再生に向けた優先交渉権者の決定

淡路夢舞台を、地域活性化を牽引する持続可能な拠点として創造的に再生するため、令和8年3月から、ホテル等の運営事業者の公募を実施してきました。

このたび、県及び株式会社夢舞台では、「淡路夢舞台におけるホテル等の運営事業者公募審査会」における審査を経て、下記のとおり優先交渉権者を決定しましたので、お知らせします。

今後、ホテル等の県有資産及び株式会社夢舞台が運営するホテル等事業の譲渡に向け、優先交渉権者との間で具体的な協議を進めます。

記

1 優先交渉権者

グループ名：フォートレスインベストメントグループ

代表企業：フォートレス・インベストメント・グループ・ジャパン合同会社
（住所）東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー45階
構成企業：アイコニア・ホスピタリティ株式会社
（住所）東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー44階

2 提案の概要 別紙1のとおり

3 審査結果の概要 別紙2のとおり

4 今後の予定
令和8年10月以降 優先交渉権者との協議・調整、契約実行
令和9年4月以降 県有資産（土地・建物）及びホテル等事業の譲渡実行
新事業者による運営開始

淡路夢舞台におけるホテル等運営事業者公募 優先交渉権者の提案概要

<コンセプト> 淡路夢舞台を「Awaji シーガイア リゾート」として再生

ー 夢舞台全体を「幅広い客層をターゲットとした滞在型リゾート」へ再成長させるー

<提案のポイント>



業界における位置づけ

- ・ 幅広い客層に滞在価値を提供する‘目的地’に
- ・ 淡路の宿泊市場における「第三の選択肢」として、島全体の顧客層の裾野を拡大



滞在価値を高めるコンテンツ

- ・ 客室改装による収益力の強化・向上
- ・ 温泉、キッズパークの新設、デジタルアート導入 等



国際会議場の機能拡充

- ・ 「Awaji シーガイアコンベンションセンター」として再生
- ・ 「リトリート型MICE」へ



安藤建築の継承と再構築

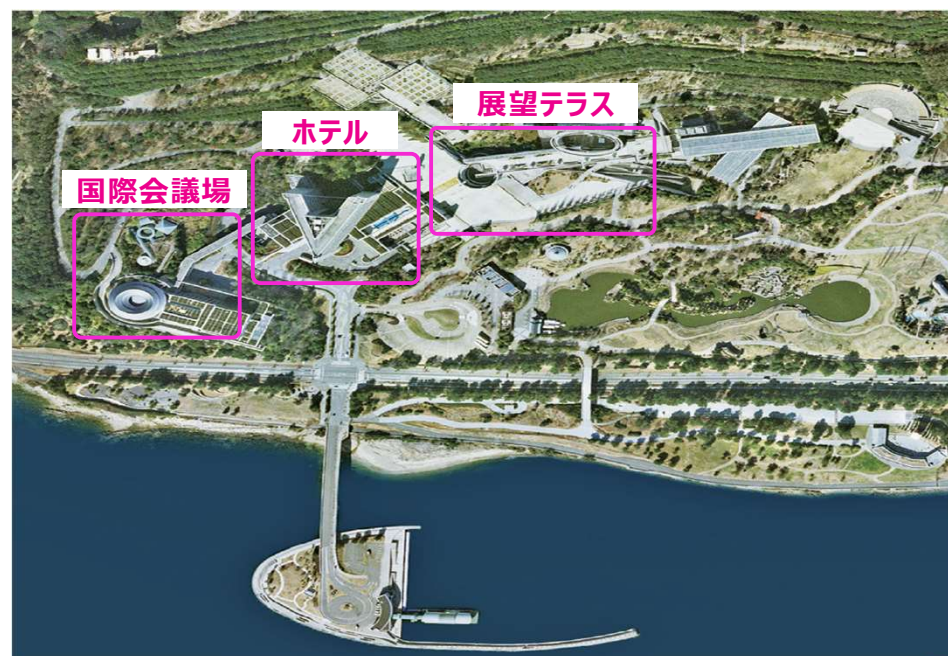
- ・ 建築の意匠を損なわず価値を最大化
- ・ 持続可能なかたちへ再構築



地域連携

- ・ 島内をつなぐ観光モデルの構築・島内周遊の起点
- ・ 御食国の食材を生かした食の戦略

【対象施設】



投資計画

- ・ 初期投資額50億円超を計画

※優先交渉権者から提案時に提出されたものです。今後の協議等により変更となる可能性があります。

淡路夢舞台におけるホテル等の運営事業者公募の審査結果概要

1 審査日時 令和8年9月13日（日） 13:00～17:00

2 応募者数 2者

3 審査の概要

応募者2者について、提出された提案書類並びにプレゼンテーション及び質疑応答の内容に基づき審査を行い、優秀提案者を選定した。

審査にあたっては、あらかじめ定められた審査基準に基づき、各委員が定性評価（全体構想、事業計画・マネジメント、運営計画及び契約方法）を行い、その平均点に、あらかじめ定められた算定式により算出した価格点（提案価格：2億円）を加え、総合評価点を算出した。

その上で、各委員による評価結果を踏まえて意見交換を行い、提案内容等の実現可能性、事業実施体制等について総合的に審議した。

審議の結果、総合評価点（146.71点／200点）が最も高かったフォートレスインベストメントグループを優秀提案者を選定した。

4 選評

- （1）全国各地における豊富な施設運営実績とスケールメリットを生かした事業運営・展開が期待できる。
- （2）「淡路夢舞台 創造的再生の基本方針」や地域の課題を踏まえ、地域に根差した事業運営に取り組む姿勢が示されている。
- （3）多額の初期投資のほか、継続的な維持修繕や設備投資により、中長期的な施設及び周辺エリアの価値向上が期待できる。
- （4）従業員の雇用承継及び雇用条件の維持について、従業員に不利益が生じないよう、明確な方針が示されている。

5 県及び株夢舞台による優先交渉権者との協議等に関する付帯意見

- （1）淡路島の地域特性、淡路夢舞台の独自性を踏まえた具体的な取組は、現時点では十分に明確化されていない。新たな取組の具体化にあたっては、他地域での豊富な施設運営実績やグループのネットワーク、本社と現場が連携した事業推進体制を生かしつつ、地域特性等を生かしたものにすること。
- （2）事業スキームについては、関連法令や公募条件との整合性を十分に確保しながら適切に進めること。

[審査会の構成（敬称略）]

委員長	赤澤 宏樹	兵庫県立大学教授
委員	上村 敏之	関西学院大学教授
委員	橋爪 紳也	大阪公立大学特任教授
委員	古田 菜穂子	ひょうご観光本部ツーリズムプロデューサー／兵庫県立大学大学院特任教授
委員	坂本 幸子	神戸 H. I. T. 法律事務所弁護士
委員	辰巳 八栄子	辰巳公認会計士事務所公認会計士
委員	小山 正彦	株式会社 NW コーポレーション代表取締役社長
委員	植松 浩二	淡路市副市長